

令和2年9月吉日 副理事・所長 海老澤政昭

特別支援学校に通う子どもたちの例年よりも短い夏休みが終わり、2学期が始まっています。毎年、8月に実施してきた地震想定避難訓練（引き取り訓練含む）を今年度からは、9月1日に実施することに変更しました。（土又は日にあつた場合は後日実施予定）変更の根拠は、できる限り、行政と合わせることで、又、地域の訓練に参加しようと考えたためです。しかし、今年は地域の訓練は8月30日（日）実施のため、事業所単独の訓練になってしまいました。また、行政とも時間を合わせる事が難しく（午前8時では利用者が誰もいない）、12時から17時45分という時間設定で実施することとなりました。訓練時間が長いのは、引き取り時刻のばらつきのためです。本来であれば、自宅へはすぐには戻れないかもしれませんが、今回の訓練では保護者向けの一斉メールの送信訓練を取り入れています。電気、水道、ガス等のライフラインの壊滅、携帯電話の不通等が考えられますが、SNSを活用したいくつかの通信手段も準備しておく必要性を感じています。まずは“安全が確保されている”情報を発信することを目指し、家族の方々の不安を解消したいと考えています。ごうでいんぐでは、第2避難先が吉原北中学校、第3避難先が神戸小学校となっています。しかし、建物自体に倒壊の危険がなければ、避難先への移動は控えようと考えています。避難先での一時的な生活はスペース及び他者との共同等を考えると、子どもたちや仲間たちの不安を増長させてしまう危険性が少なからずあると判断するためです。避難そのものが孤立化するのではなく、連絡員を設け、避難先本部等とのやりとりを行う予定です。新しい場所へ移動してからののはじめての訓練です。しっかりと成果と課題を明確にし、日頃の防災意識の向上や準備の不足がないように心がけていこうと思います。

さて、特別支援学校の産業現場等現場体験実習が始まります。今回は高等部3年生4名が参加します。実りある実習となるように受け入れの準備を進めているところです。

## 今年度第1回地震想定避難訓練を実施しました 令和2年9月1日



B型



生活介護



放デイ

コロナ禍で世の中が騒がれていますが、活火山（平成15年に休火山から活火山へ変更）である富士山のマグマに異変がみられいつ噴火してもおかしくない状況にあるそうです。また、約100年から200年周期で発生する東南海大地震もいつ起こるか分からない不安を感じながら過ごしていることも確かなことです。ごうでいんぐ岩ヶ原ではそれらに対応できる訓練を日頃から行うよう心がけています。

### 【編集後記】

大正12年9月1日、東京を襲った大地震を教訓に毎年この時期に防災訓練を各地で行っています。アヴァンセを目にすることでコロナ禍も併せて災害に対して再確認していただくと幸いです。また、この度、新しい職員が加わりました。よろしくお願いたします。



B型支援員のOさん